

1. 第24回日本丸マスターズ

吉例マスターズは、2011年5月18日(水)にこここのところお馴染みの「東名御殿場カントリークラブ」にて開催。参加マスターも久々に2ケタの12名。

天気は穏やか、風が心地よく、咲き始めのツツジが目には優しい。



みな集合時刻の30分以上前に来る。とくに初出場の一人、植木さん、力が入って

る。直前までパットに余念がない。

始める前の元気なうちに集合写真を撮って、佐藤さんの指導で十分に身体をもみほぐし、いよいよスタート。

今回は初参加が松尾さん、植木さんの2名、ジंकストとなりつつある「初参加・初優勝」だが、2人優勝はないので、どちらが?

終わって、成績もわからぬまま「時之栖」に直行。ばたばたと温泉につかってから、乾杯し、いよいよ成績表オープン。

順位	氏名	Out	In	GR	SH	DCP	NET
優勝	長崎 浩一	4038	78	8.4	69.6	BG	
第2位	佐藤 精吾	4342	85	13.2	71.8		
第3位	田村 芳樹	4747	94	21.6	72.4		
第4位	松尾 英士	44	45	89	14.4	74.6	NP(2)
第5位	植木 孝典	46	47	93	18.0	75.0	NP(2)
第6位	松山 英明	525110327.6			75.4		
第7位	川島 通明	545010427.6			76.4		
第8位	原田 實	615611738.4			78.6		
第8位	伊藤 隆輔	535210526.4			78.6		
第10位	由本 欽路	505410425.2			78.8		
第11位	山路 永司	675912644.4			81.6	BB	
第12位	小永井 晃	736814157.6			83.4		

優勝は新人2名のいずれ?とあってたところ、ベテランが意地を見せ、出場4回目の長崎さんが素晴らしいスコアで初優勝!おめでとうございます。しかし、新人2名は、しっかりニアピン賞を2ホールずつゲット。素晴らしいです!



そして、グラントーブルで御殿場高原ビールの各種の味を堪能。5人の楽

隊さんには、ブンガワンソコをリクエスト。みなで歌いました。



さて、右の飲んでる写真に、長崎プロは居ません。由本プロと2人は所用で先に帰っており、結果をまだ知りません。優勝の表彰式は次回の練習時に行い、ロッカーの前で写真を撮りました。



今回は、この秋。大勢の方々の参加をお待ちしております。(BB賞の山路記)

2. ピタゴラスコンマ

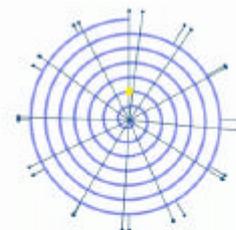
5月31日の練習で、白石さんから「ハモる」とはどういうことかの説明があり、その数学的説明はすごく難しい、というお話がありました。

メール上ではこれについて植木さん、高取さんから発言があり、そこで「マエストロ白石の音楽ノート」をちゃんと読んでみました。

少し紹介します。

『一本の糸をびんと張り、はじいて出る音を「ド」になるように長さを調整する。長さを半分で区切ると、区切られた左右の糸は両方ともオクターブ上の「ド」の音が出る。では、3分の2の長さに区切ると何の音が出るのだろうか。3分の2で区切ると、長いほうが「ソ」残りの3分の1はそのオクターブ上の「ソ」になる。そうしてできた3分の2を更に3分の2で区切ると、「レ」、更に進めると「ラ」・・・、と7回繰り返す。こうして古代ギリシャの数学者ピタゴラスは、我々が現在使っている「ドレミファソラシ」の音律を創った(実際は「ファ#」が先に出てくるため、現在の長音階とは少し違うが)。』

というふうに、かのピタゴラス大先生は説明したのだけれども、理論的にはゼツタイに合わないため、どこかで丸める必要があり、7オクターブ上まで行ったときに、半音の1/4ほどの誤差が残り、これをピタゴラス・コンマ(ピタゴラスの誤差)というのだそうです。



[編集後記] またしても植木さんに刺激され、ピタゴラスの迷宮に嵌ってしまいました。ハモることの科学は奥が深いですが、ハモる実体験はもっと快感です。そのためには、音取りと暗譜!がんばりましょう。(B2:山路)